

IBM CMM クイック リファレンス ガイド

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[CMMの概要](#)

[CMMレイアウト](#)

[便利なCMM画面](#)

[ログイン画面](#)

[システム情報画面](#)

[イベントログ画面](#)

[シャーシハードウェアトポロジ画面](#)

[CMMファームウェアのアップグレード](#)

[CMMリカバリ](#)

概要

このドキュメントでは、同じシャーシ内にCiscoブレードスイッチを含む導入用のChassis Management Module(CMM)に関する基本情報について説明します。

注：CMMモジュールに関する設定、構成、およびトラブルシューティング情報については、IBM Webサイトを参照することをお勧めします。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- IBMブレードシャーシ
- Ciscoブレードスイッチ

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- Cisco B22シリーズファブリックエクステンダ(FEX)
- IBM CMM

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的

な影響について確実に理解しておく必要があります。

CMMの概要

CMMは、インストールされているすべてのシャーシコンポーネントを設定および管理するホットスワップモジュールです。IBMシャーシはCiscoブレードスイッチをホストするために使用されるため、CMMの機能と設定方法を理解しておくことをお勧めします。

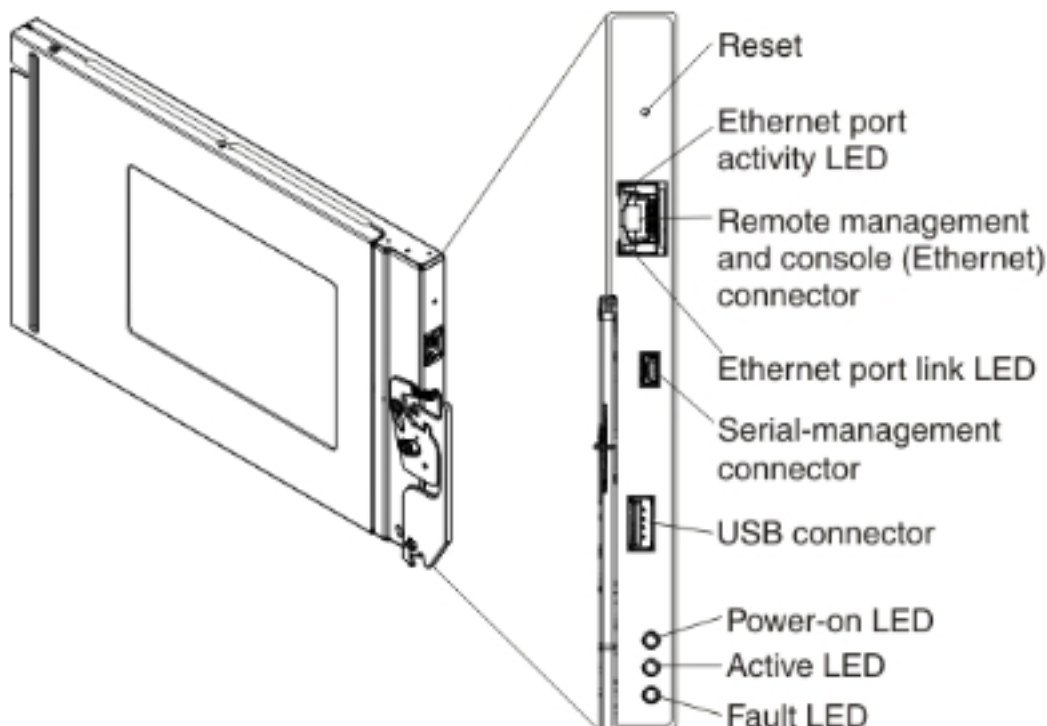
注：これはIBM製品であり、IBMはそれを所有し、管理します。

CMMには、次の機能があります。

- シングルシャーシ管理
- 電源制御およびファン管理
- シャーシとコンピュータノードの初期化
- シャーシ管理ネットワーク
- 診断
- サービスデータ収集およびCall Homeサービス
- リソース検出およびインベントリ管理
- リソースアラートおよびモニタリング管理
- シャーシおよびコンピューティングノードの電源管理
- ネットワーク管理

CMMレイアウト

次の図は、CMMの物理コンポーネントレイアウトを示しています。



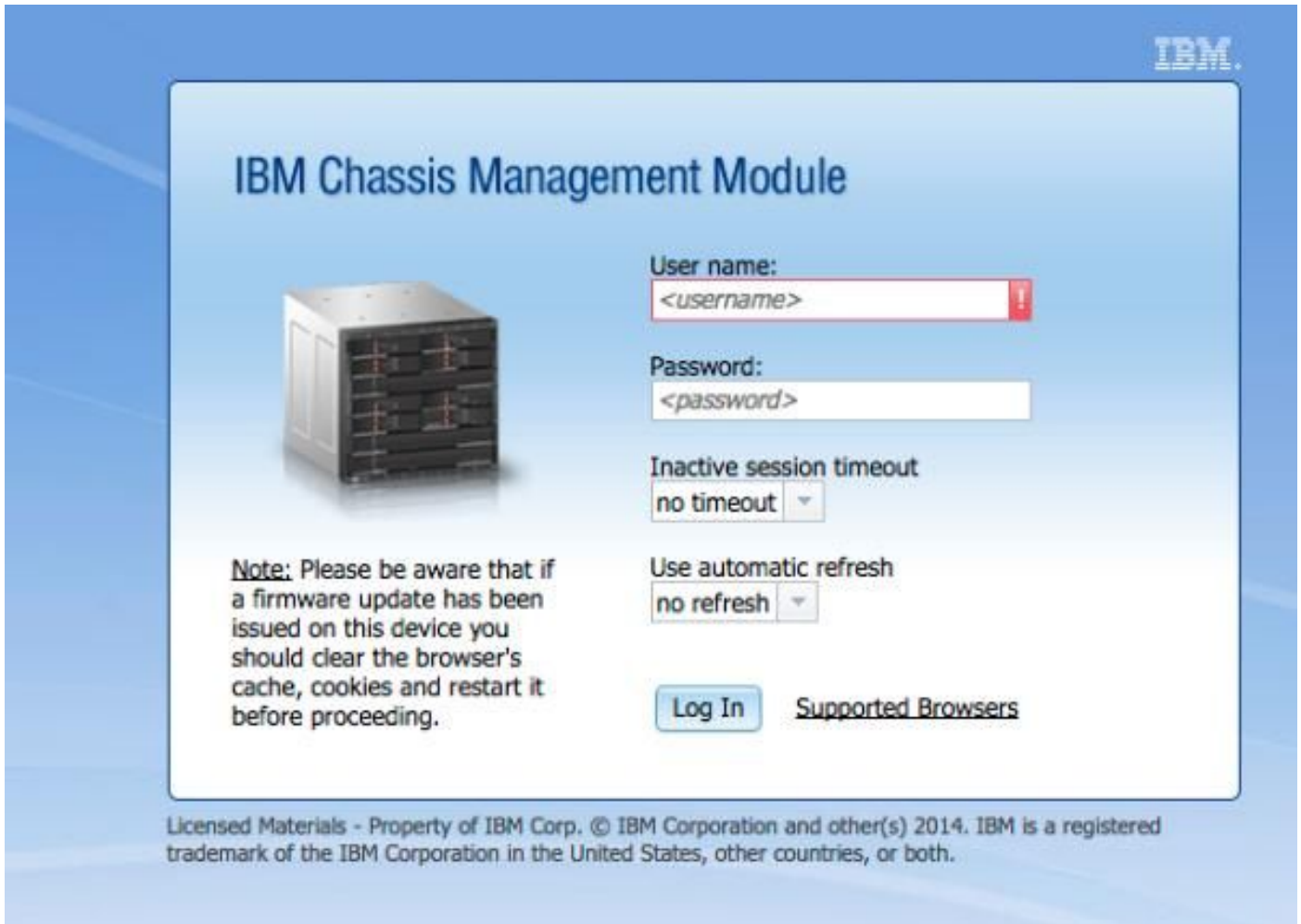
便利なCMM画面

このセクションでは、より便利なCMM画面について説明します。

注：このセクションのイメージは、CMMモジュールにログインした状態でWebブラウザから取得したものです。この例では、CMMのIPアドレスは10.122.166.119です。

ログイン画面

次の図に、CMMログイン画面を示します。



IBM

IBM Chassis Management Module

User name:

Password:

Inactive session timeout: no timeout

Use automatic refresh: no refresh

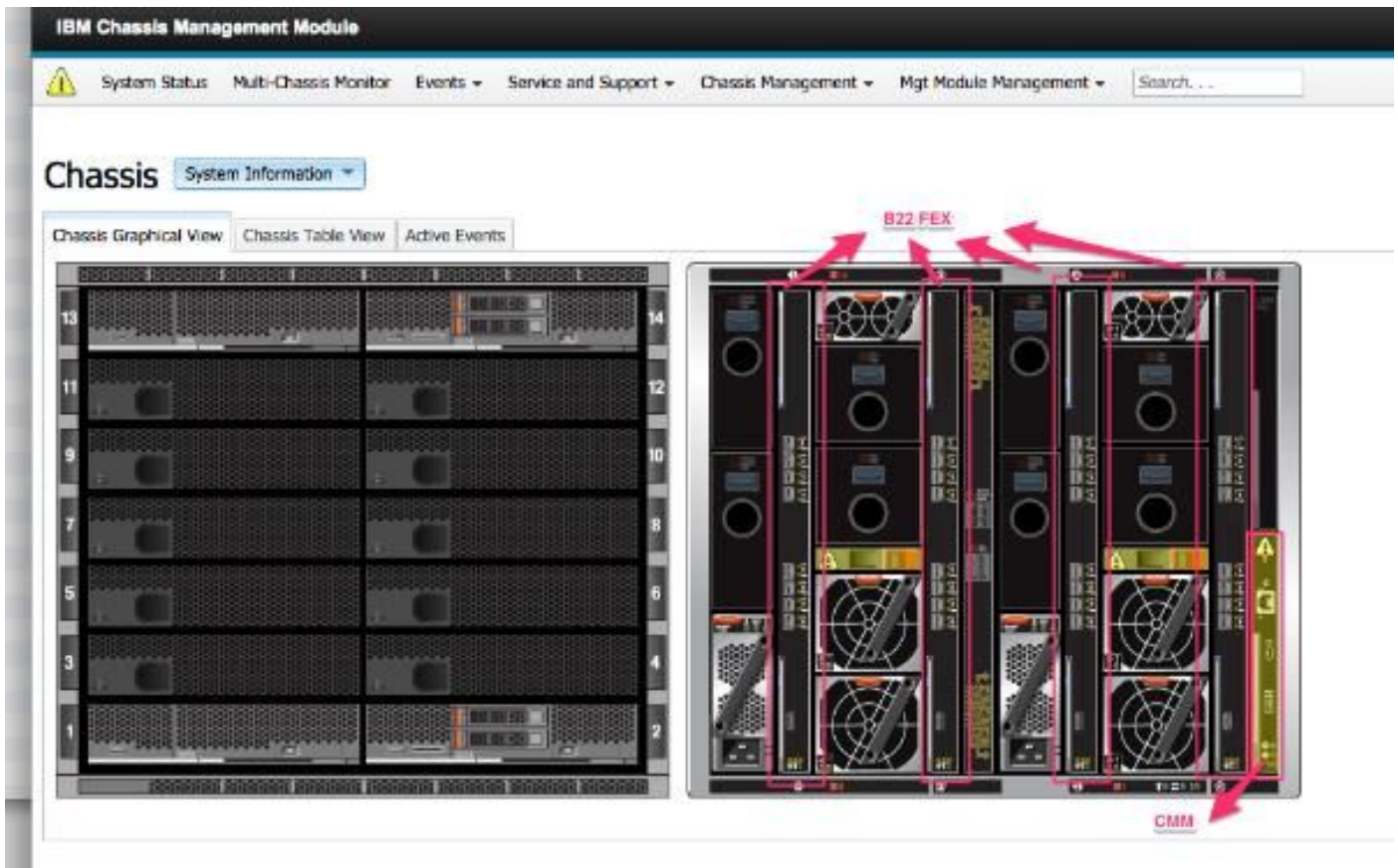
[Log In](#) [Supported Browsers](#)

Note: Please be aware that if a firmware update has been issued on this device you should clear the browser's cache, cookies and restart it before proceeding.

Licensed Materials - Property of IBM Corp. © IBM Corporation and other(s) 2014. IBM is a registered trademark of the IBM Corporation in the United States, other countries, or both.

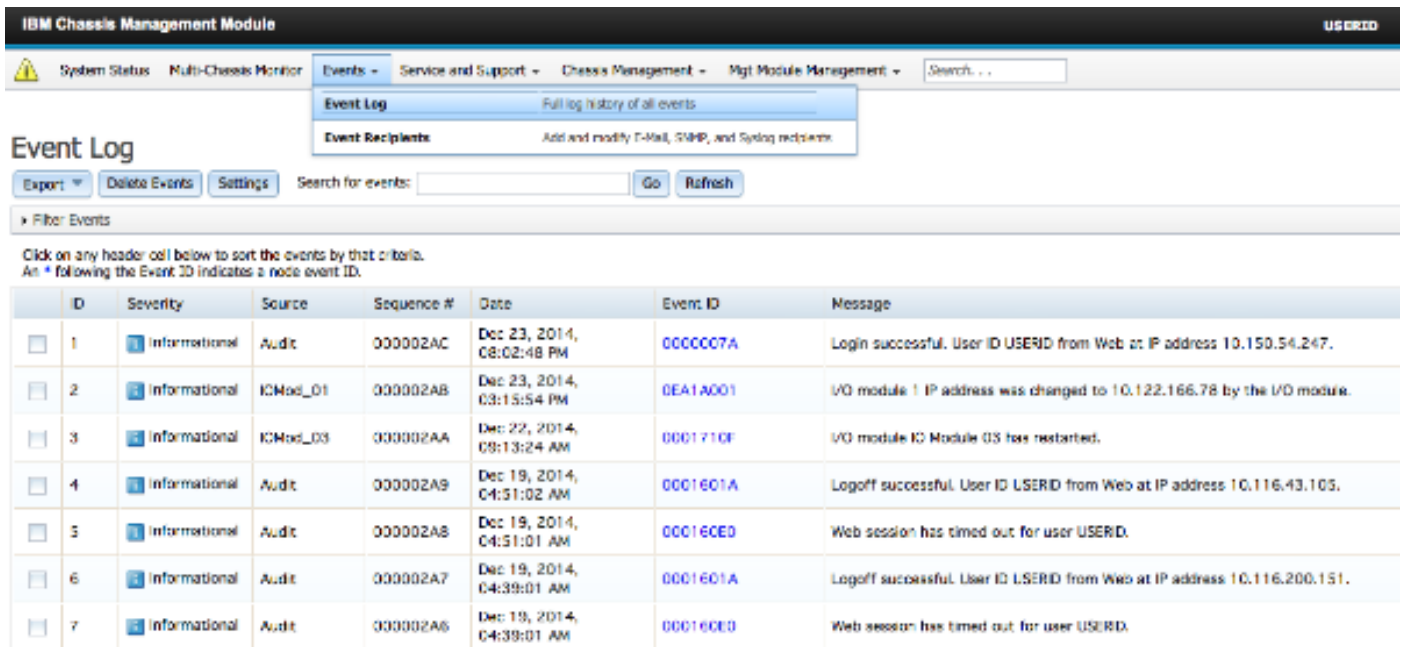
システム情報画面

[システム情報(System Information)]画面には、ブレードシャーシ内のモジュールが視覚的に表示されます。



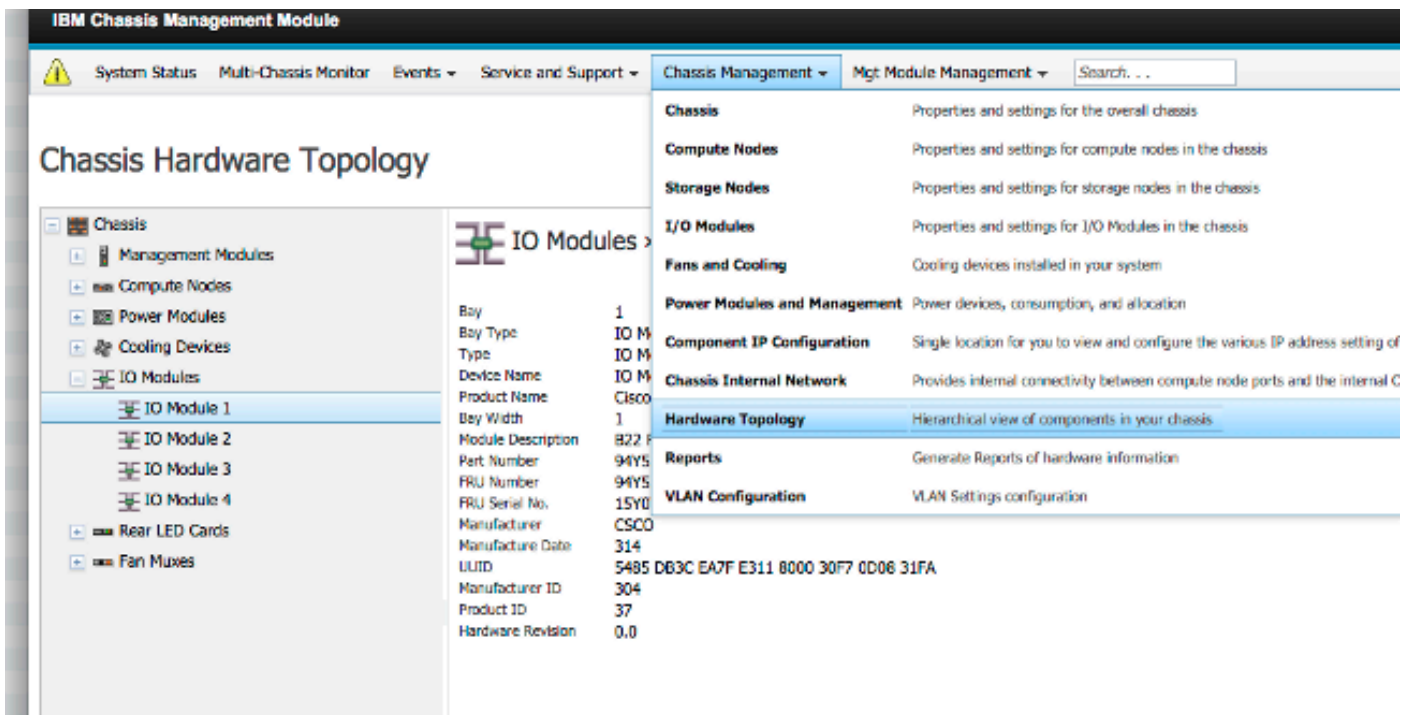
イベントログ画面

イベントログを確認するには、[Events]タブをクリックし、[Event Log]を選択します。



シャーシハードウェアトポロジ画面

シャーシのハードウェアトポロジを表示するには、[Chassis Management]タブをクリックして、[Hardware Topology]を選択します。



これらの図に示すように、ブレードシャーシに表示する情報に応じて、CMM GUIを簡単にナビゲートできます。

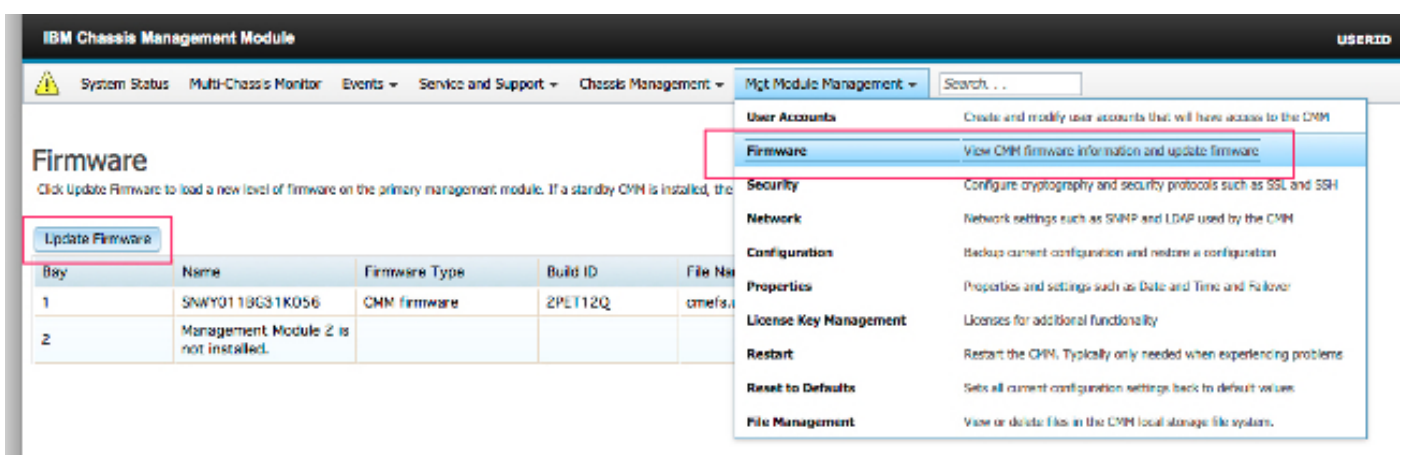
CMMファームウェアのアップグレード

注：CMMモジュールをアップグレードする方法については、必ずIBMのWebサイトに記載されている手順を参照してください。このセクションの情報は、ラボ環境で作成されたものです。

CMMのファームウェアをアップグレードするには、IBM Webサイトからイメージをダウンロードする必要があります。Googleでcmmイメージの検索を実行し、正しい情報を検索できます。

注：IBM Webサイトから無償でファームウェアアップグレードファイルをダウンロードするには、ログイン情報を使用する必要があります。

フォルダをダウンロードしたら、解凍してxxx.uxpファイルを見つけます。このファイルをファームウェアのアップグレードに使用します。このアップグレードは約10分かかります。



CMMリカバリ

CMM WebインターフェイスからCMMをリセットして再設定するには、次の手順を実行します。

1. まっすぐなペーパークリップまたは類似のツールを使用して、リセットボタンを15秒間押し続け、CMMを製造元のデフォルト設定にリセットします。
ヒント：リセットボタンとその位置の詳細については、IBM Flex System情報ページの「[CMMコントロールとインジケータ](#)」セクションを参照してください。
2. ラップトップまたはワークステーションからCMMにイーサネットケーブルを直接接続します。
注：これは、デフォルトのIPアドレスを持つ同じサブネット上の別のCMMへの接続を避けるために必要です。
3. ラップトップまたはワークステーションからブラウザを開き、<https://192.168.70.100>にあるCMMのデフォルトIPアドレスに移動します。
注：サブネットに到達するには、ローカルホストの再設定が必要になる場合があります。
4. デフォルトのユーザー名USERIDとデフォルトのパスコードPASSWORDを使用してCMMにログインします。すぐにパスワードを変更する必要があります。
5. リセット前と同じ設定でCMMを設定します。
6. オプションで、将来のロックアウト状況で使用する2つ目の管理ユーザアカウントを作成できます。